

感染防止安全計画

別紙

1 開催概要

イベント名称	(開催案内等のURLがあれば記載)			
出演者 チーム等	(多数のため収まらない場合 → 別途、一覧をご提出ください。)			
開催日時	※複数回開催の場合 → 別途、開催する日時の一覧をご提出ください。			
開催会場	(会場のURL等があれば記載)			
会場所在地				
主催者				
所在地				
連絡先	(電話番号、メールアドレス)			
収容率 (上限)	いずれかを選択(いずれも大声がないことを担保)			
	<input type="checkbox"/>	収容定員あり 100%	<input type="checkbox"/>	収容定員なし 人と人が触れ合わない程度
収容定員	人		—	
参加人数	人			
ワクチン・検査 パッケージの活 用	<input type="checkbox"/>	緊急事態措置区域: 人数上限10,000人を収容定員まで緩和		
	<input type="checkbox"/>	まん延防止等重点措置区域: 人数上限20,000人を収容定員まで緩和		
その他の 特記事項				

※ 大声の定義を「観客等が、通常よりも大きな声量で、反復・継続的に声を発することとし、これを積極的に推奨する又は必要な対策を十分に施さないイベントは「大声」に該当するものとする。

2 具体的な対策

①飛沫の抑制(マスク着用や大声を出さないこと)の徹底

<チェック項目>

- 飛沫が発生するおそれのある行為を抑制するため、適切なマスク(品質の確かれば不織布)の正しい着用や大声を出さないことを周知・徹底し、そうした行為がいた場合には、個別に注意、退場処分等の措置を講じる。

<具体的な対策>

<記載項目(例)>

- ☞ マスクを着用しない者や大声を出すものに対する個別注意等の具体的方法の検討実施
 - マスクを着用しない者や繰り返し大声を発する観客の退場措置の事前準備・周知(チケット購入時の約款に明記等)
 - 応援自粛に係るファンクラブ等との事前調整
 - 警備員や映像・音声によるモニタリング、個別注意や退場の徹底のための実施計画
- ☞ 新たな鑑賞・応援方式を根付かせるための取組の工夫(演者からの呼びかけ等)

(記載欄)

(1)

(2)

(3)

2 具体的な対策

②手洗、手指・施設消毒の徹底

<チェック項目>

- こまめな手洗やアルコール消毒による手指消毒の徹底を促す。(会場入り口等コール等の手指消毒液設置や場内アナウンス等の実施)
- 主催者側による施設内(出入口、トイレ、共用部等)の定期的かつこまめな消毒

<具体的な対策>

<記載項目(例)>

- ☞ 具体的な手洗場、手指消毒液の設置場所、準備個数等の検討・実施・フォローアップ
- ☞ 施設内の消毒箇所、消毒頻度の整理
- ☞ アナウンス等での手洗・手指消毒の呼びかけ、マスクを着用しない者や大声を出す者に対する個別注意等の具体的な方法の検討・実施

(記載欄)

(1)

(2)

(3)

2 具体的な対策

③換気の徹底

<チェック項目>

- 法令を遵守した空調設備の設置による常時換気又は、こまめな換気(1時間以上・1回に5分間以上)の徹底

<具体的な対策>

<記載項目(例)>

- ☞ 個別施設の設備に応じた換気計画の策定
 - 施設に備わっている換気設備の確認、その仕様を踏まえた適切な換気計画の策定
 - CO2測定装置による常時モニターや映像解析を活用した換気状況を確認する手法の検討・実施
 - 換気能力維持のための定期的な検査・メンテナンス

(記載欄)

(1)

(2)

(3)

2 具体的な対策

④来場者間の密集回避

<チェック項目>

- 入退場時の密集を回避するための措置(入場ゲートの増設や時間差入退場等)
- 休憩時間や待合場所での密集も回避するための人員配置や導線確保等の体制
- 大声を伴う可能性のある催物では、前後左右の座席との身体的距離の確保

<具体的な対策>

<記載項目(例)>

- ☞ 開場時間の前倒しや時間差・分散退場の実施、交通機関との連携(駅付近の混雑データを踏まえた増便等)による誘導計画
- ☞ 密になりやすい場所での足形マークの設置、マーキング、誘導員等の配置による誘導等の実施計画
- ☞ CO2測定装置等を活用した混雑状況の把握・管理と適切な誘導
- ☞ 収容率を踏まえた、密集回避に適した観客席の座席配置の工夫、個別施設の設備に応じた換気計画の策定

(記載欄)

- (1)
- (2)
- (3)

2 具体的な対策

⑤ 飲食の制限

<チェック項目>

- 飲食可能エリアにおける感染防止策(飲食店に求められる感染防止策等を踏まえた対策)の徹底
- 長時間マスクを外す飲食は、隣席への飛沫感染のリスクを高めるため、可能な食専用エリア以外(例:観客席等)は自粛。ただし、発声がないことを前提に、飲食外のマスク着用担保や、マスクを外す時間を短くするため食事時間を短縮することができる環境においてはこの限りではない。
- 飲食中は、マスク無しでの会話禁止を徹底
- 自治体の要請に従った飲食・酒類の提供(飲酒提供時は、大声を防ぐ対策を検討)

<具体的な対策>

<記載項目(例)>

- ☞ 開場時間の前倒しや時間差・分散退場の実施、交通機関との連携(駅付近の混雑防止データを踏まえた増便等)による誘導計画
- ☞ 密になりやすい場所での足形マークの設置、マーキング、誘導員等の配置による誘導等の実施計画
- ☞ CO2測定装置等を活用した混雑状況の把握・管理と適切な誘導
- ☞ 収容率を踏まえた、密集回避に適した観客席の座席配置の工夫

(記載欄)

(1)

(2)

(3)

2 具体的な対策

⑥出演者等の感染対策

<チェック項目>

- 有症状者(発熱又は風邪等の症状を呈する者)は出演・練習を控えるなど日常
演者(演者・選手等)の健康管理を徹底する。
- 練習時等、催物開催前も含め、声を発出する演者間での感染リスクに対処する
- 出演者(演者・選手等)と観客が催物前後・休憩時間等に接触しないよう確実な
講じる。

<具体的な対策>

<記載項目(例)>

☞ 日常から行う出演者等の健康管理方法の検討

- 出演者の必要に応じた検査の実施
- 健康アプリの活用等

☞ 演者・選手等と観客の接触防止策(動線計画・ファンサービスの自粛等)の作成、演 者・選手および観客双方への呼びかけ、開場時間の前倒しや時間差・分散退場の実 施、交通機関との連携(駅付近の混雑度データを踏まえた増便等)による誘導計画

(記載欄)

- (1)
- (2)
- (3)

2 具体的な対策

⑦参加者の把握・管理等

<チェック項目>

- 「5つの場面」の注意喚起や直行・直帰の呼びかけ等イベント前後の感染防止(起
- 入場時の連絡先確認やアプリ等を活用した参加者の把握
- 入場時の検温、有症状(発熱又は風邪等の症状)等を理由に入場できなかったり戻し措置等により、有症状者の入場を確実に防止、有症状者(発熱又は風邪状を呈する者)は出演・練習を控えるなど日常からの出演者(演者・選手等)の把握を徹底する。

<具体的な対策>

<記載項目(例)>

- ☞ チケット購入時の参加者の連絡先把握
- ☞ COCOAや各地域の通知サービス等による来場者情報の把握・管理手法の確立(アリのQRコードを入口に掲示すること等による具体的な促進措置の導入)
- ☞ 直行・直帰等の催物前後の感染対策に関する具体的な措置
 - 会場での直行・直帰の呼びかけ、警備員による公共交通機関への誘導等
- ☞ 検温・検査実施のための体制・実施計画
- ☞ 有症状者の入場を防止できるキャンセルポリシーの整備
- ☞ 混雑度データを踏まえた誘導計画

(記載欄)

(1)

(2)

(3)

※提出時には、催物のチラシや計画書等(既存資料)、参考とした業種別ガイドライン等も
ください。

3～4は、該当する場合のみ記載してください。

3 ワクチン・検査パッケージに関する実施計画

※緊急事態措置やまん延防止等重点措置の発令時に、人数上限を超えて、収容率100%での開催をしようとする場合に記載

※「ワクチン・検査パッケージ制度要綱」を確認の上、下記の項目について、実施の有無をチェックしてください。

- 「ワクチン接種歴」及び「検査結果」のいずれも対象としている。
- 実施を予定している検査の内容について具体的に記載してください。

(記載欄)

- 「ワクチン接種歴」及び「検査結果」の確認方法について具体的に記載してください。

(記載欄)

- 抗原定性検査を実施する場合には、「ワクチン・検査パッケージ制度要綱」に従って実施している。
- その他の事項についても、「ワクチン・検査パッケージ制度要綱」に従い、適切に実施している。

4 専門家との調整状況

※専門家の事前確認を受けた場合に記

助言を受けた専門家:

主な助言内容:

な、でき
をする者

・
(子
画

へのアル

の実施。

プ

者

2回以

定
去

の實施

制構築

変
導
に

まえた十

：限り、飲
：食時以
等の対策

討)

変
導

からの出

う。

措置を

--

--

の注意喚

：際の払
3等の症
健康管理

プ

添付して

％

を

さい。

さい、適切

ご実施し

！載